

ぬれた時に手を拭いたり、かいた汗を拭いたり。リラックスして「拭く姿」は、その人の生活、品格まで映し出してしまいうものです。

飛行機の客室乗務員のころ、食事の前に布おしぼりを出し、回収してました。スーツ姿の

中年男性が、靴も靴下も脱ぎ、素足を座席に乗せ足の指一本一本をおしぼりで丁寧に拭き取っ

ていたのです。立ちすくむ私を見るや、そのおしぼりを回収バスケットの中に入れ、そのまま目を閉じてしまわれました。手を拭いた後、そのまま顔、耳周りや中、首筋などを拭き始める方は男女問わず多いです。汗ばむ季節には、シャツのボタン全開で胸元や脇の下まで。汗を拭きたい衝動に駆られる



ぬれた体を拭く 周りの目を意識

のも分かりますが、テールマナーだけでなく衛生面からもNGです。口元はナプキンで拭く

もの。おしぼりはお手ふきとも呼ぶように手指のためのものです。また、小さなおしぼりで

手も顔も身体も拭くのは衛生的ではないです。

雨でぬれることも多い季節、ハンカチやタオル、ウエットティッシュが大活躍します。バッグの中に薄手のハンカチやタオル地のもの、ウエットティッシュなどを携帯し、顔や身体用、手拭き用、衣類・カバン用など、拭くパーツに応じて使い分ける方が美しいです。オフィスや会食の場などでは、周りの人が見て不快になるような「拭く姿」を見せていないか、注意が必要です。

(ビジネススマナー講師

美月 あきこ)